

ささげ物としての食べ物

ジャヤラクシュミー・レサマの話

バーバ・ムクターナンダのマハーサマーディを祝う

シッダ・ヨーガ・セレブレーション・サツツァング

2020年10月31日 土曜日

ナマステー！

シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールで皆さんを歓迎することを嬉しく思います。

私たちは「神聖な休息の領域に住む」と題されたこのサツツァングに、共に参加しています。私の名前はジャヤラクシュミー・レサマです。シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムでアンナプールナー・キッチン(Annapurna Kitchen)の責任者のセーヴァーをささげています。

バーバ・ムクターナンダは、すべてのシッダ・ヨーガ・アーシュラムのキッチン(Annapurna Kitchen)をアンナプールナーと名付けました。なぜなのか不思議に思う人もいるかもしれませんが。インドの伝統では、女神アンナプールナーは食べ物と栄養を与える者です。

インドでは、誰もが食べ物を食べる前に、まずそれを神にささげるという古代からの伝統があります。シッダ・ヨーガの道では、最初に最愛のシュリー・グルに食べ物をささげることでこの伝統を守り、このささげ物が行われた後に初めて、私たちはそれを食べます。この神聖なささげ物はナイヴェーデヤと呼ばれています。

今日、私はバガヴァーン・ニッテャーナンダのムールティにナイヴェーデャをささげます。

ナイヴェーデャの語源は、「知らせる」または「何かを具現化または可視化する」ことを意味するニ・ヴィドです。従って、ナイヴェーデャを行うことは、シュリー・グルへの愛を目に見える形で具体化する美しい方法です。

ナイヴェーデャのための食べ物は、最大の敬意を持って準備され、ささげられます。バーバとグルマーイは、料理をしながら神の名を繰り返すことを私たちに教えました。アンナプールナーでは、神聖なマントラを朗唱することで一日を始めます。その後食べ物の準備をしている最中には、キールタンかチャンティングが流れています。このようにして、食べ物に神の名の波動が吹き込まれるのです。

シュリー・グルにささげる食べ物を準備する時、私たちは意識の中で彼らへの愛を持ち続けます。私たちは彼らが喜ぶよう、彼らの好む料理を準備し、最も美しく上品な食器に料理を盛り付けます。

このように準備された食べ物は、ナイヴェーデャとして、シュリー・グルにささげる価値があります。

今日、私はバデ・バーバにナイヴェーデャをささげます。おいしい南インド料理のウプマと、ブラックコーヒーを愛したバーバのグルであるバデ・バーバに敬意を表して、バーバが創作したシッダ・コーヒーをささげます。

私はまた、カルダモン、ナツメグ、そしてサフランといったナッツやスパイスを入れて沸かした、甘く香りの良いミルクもささげます。このスパイスマルクはシャラド・プールニマー、つまり10月の満月に作られるのが慣例です。シャラド・プールニマーは、インドのマハーラーシュトラ州では

コージャーガリ・プールニマーとしても知られています。この夜には、女神ラクシュミーが彼女の信奉者たちを訪れ、彼らを祝福すると信じられているので、人々は一晩中起きています。伝統的にシュリー・ラクシュミーには、滋養豊かな月の光を吸収させるために満月の下に置かれていた、「月のミルク」をささげて敬います。

インドの教典は、ナイヴェーद्याがささげられる時、神は空気の要素を通して食べ物を受け取ると言っています。神は食べ物をささげる者の意図と祈りに耳を傾けると言われています。儀式が終わると、そのささげられた食べ物は残りの食べ物と混ぜ合わされ、それはプラサード、すなわち祝福された食べ物としてすべての人たちに振る舞われます。

ナイヴェーद्याをささげている間は、マントラを朗唱するのが慣例です。今日、私たちは「ナーゲンドゥラ・ハーラーヤ」の賛歌を聞きます。それは「シヴァ・パンチャークシャリー・ストートラム」としても知られています。シッダ・ヨーガの道の伝授のマントラ、オーム・ナマー・シヴァーヤは、しばしばパンチャークシャリー・マントラ、つまり「五つの音節から成るマントラ」と呼ばれています。原初の音であるオームは音節として数えません。この賛歌の詩節は、マントラの神であるシヴァ神の資質を、マントラの五つの音それぞれに関連付けて褒めたたえます。

それからジャヤラクシュミーは、ナイヴェーद्याの神聖なささげ物をしました。

